

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分
例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67 (八幡建設 2F)
TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005
E-mail: rc-8man@abeam.ocn.ne.jp
URL: http://gujohachiman-rc.com/

会 長：三原慎也
副 会 長：野田三津雄
幹 事：西村 肇
公共イメージ：松森 薫
会報担当者：田中義久

2023 年度国際ロータリー会長：ゴードン R. マッキナリー (サウス・ウエスト・フェリー ロータリークラブ・スコットランド)

2023 年度国際ロータリーテーマ：CREATE HOPE in the WORLD (世界に希望を生み出そう)

<本日のプログラム>

第 2846 回 令和 5 年 11 月 16 日 第 3 木曜日
米山・財団卓話 岩出明喜委員長

<次回の予定>

第 2848 回 令和 5 年 11 月 30 日 第 5 木曜日
補助金事業打合せ

<前回の記録>

第 2845 回 令和 5 年 11 月 9 日 木曜日
会員卓話 田中義久会員
西村 肇会員

司 会 進 行	河合和也副 SAA
点 鐘	三原慎也会長
ソ ン グ	我等の生業

情報 の 時 間 小笠原正道パスト会長
「四つのテスト」唱和

11 月のお祝 可児一彦親睦委員長
会員誕生日

14 日 川嶋成樹会員

結婚記念日



8 日 山川直保・久代ご夫妻
22 日 河合 修・快子ご夫妻
23 日 廣瀬泰輔・希ご夫妻
28 日 長尾信幸・るみ子ご夫妻

配偶者誕生日



10 日 前田弥生様 14 日 河合快子様
30 日 西村綾子様

1 分間スピーチ 廣瀬泰輔会員



こんにちは。結婚記念日のお祝ありがとうございます。おかげさまで 25 周年を迎えることができました。特に喧嘩することもなく、仲良くやってきております。これからも二人で仲良く頑張っていきたいと思います。

出 席 報 告 森下 光出席担当責任者

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
37 名	21 名	16 名	37 名	100%

ニ コ B O X 國田大雄ニコ BOX 担当責任者

- ・ IM、ふるさと祭り、合同例会など忙しい日が続きましたがご苦勞様でした。本日の卓話、西村さん、田中さんお願いします。 三原慎也
- ・ 田中君、卓話宜しくをお願いします。 西村 肇
- ・ 皆さん、先日は IM に引き続きポリオ募金活動大変ご苦勞様でした。 渡邊 剛
- ・ 卓話宜しくをお願いします。 田中義久
- ・ 結婚記念日のお祝をありがとう。 廣瀬泰輔

河合 修・西村 肇

- ・ 田中君、西村君、会員卓話楽しみにしています。
平岩あゆみ・平岩憲政・廣瀬泰輔・岩出明喜
可児一彦・河合和也・松本英樹・松森 薫
森下 光・村井裕孝・村土時男・永瀬和郎
小笠原正道・大川達也・坂本 仁・竹内巧治
渡邊 剛・山下友幸

幹事報告 西村 肇幹事

- ・ガバナー事務所より 2026-27 年度ガバナーノミニー推薦依頼
- ・各務原 RC より第2回会長幹事会のご案内
- ・可児 RC より例会変更のご案内

<拝受>

- ・郡上高校書道部よりお礼状
- ・桑名北・郡上長良川 各 RC より週報

委員会報告

岩出明喜財団・米山奨学委員長

- ・ポリオ募金活動の報告

可児一彦親睦委員長

- ・忘年例会のお知らせ

会長の時間 三原慎也会長



皆さん、こんにちは。IM、ふるさと祭り、皆様ご苦勞様でした。今年一番の大きな事業が終わりちょっと肩の荷が降りているところ

です。そのおかげか、一日熱を出しまして、その後ちょっとご迷惑をおかけし申し訳ないです。今日は卓話の時間が来ていますので、プログラムに時間をお渡しします。ありがとうございました。

会員卓話 田中義久会員



今日の卓話は、この頃青山家の次男幸紀さんがお城のテレビ取材などに登場し、なかなかユニークなキャラクターとして広く親しま

れているので、私も郡上青山藩葉菊会の理事を務めていることから、青山家のことをお話ししたいと思います。ちなみに幸紀さんは幸成(よしなり)流の第14代幸喜さんの弟で、いつも来られている第14代後見人の幸文さんの次男です。大学卒業後に、御先祖様が藩主であった郡上に住みたいと自ら希望され、私も推薦したのですが、実は常盤町の家も私が面倒を見て、郡上八幡産業振興公社に就職。公社では御家のつながりで、もう10年ほどお城の担当をされています。

さて皆さん、今年の大河ドラマ「どうする家康」をご覧になっていますか。初めは今年の「鎌倉殿の13人」の盛り上がりもあり期待して観ていたのですが、序盤ではどんどん面白くなってきて、視聴率も過去最低の「韋駄天」を少し上回るくらいの歴代下から数えて2番みたいなことで、平均視聴率は10%内外。テレビって本当に難しいものですね。で、話は青山氏に戻ります。実は、青山氏がこの「どうする家康」に全然出てこないんですね。私は、今年の予告からそのことを何故だろうと頭をひねっていました。調べてみると、青山氏は「徳川四天王」に入っていない、「徳川十六神将」にも入っていないのです。そんなわけで、私は家康の三河から幕府成立までの間に青山氏は

何をしていたのか探ってみました。

まず初めに、青山氏の初めからの出自をお話します。青山氏は元は藤原氏。青山家の家系図は日本で最も知られている藤原鎌足から始まります。最初にその系図を見た時はびっくりしましたが、系図というものはそうしたもののようです。江戸時代の幕府御用達「寛政重修諸家譜」によれば、お配りした系図の最初にある花山院師重は、藤原鎌足から「この世を我が世とぞ思う望月の欠けたることの無きと思えば」の道長、頼通へと続く本流で、道長のひ孫、左大臣家忠からその屋敷の名を取って花山院を名乗ります。その花山院の中で、師賢という方が後醍醐天皇について倒幕運動に参加し、これに敗れて下総、今の千葉に流されました。大変な戦乱の世に翻弄されたわけですが、千葉県成田市には師賢卿を祭神とする小御門神社という神社があり、今日でも青山氏との関連行事が行われています。その子信賢は南朝方で世に出ますが、後半は不明で、その子師重が後醍醐天皇の孫にあたる尹良(ゆきよし)親王に従い下向、途中今の長野県伊那阿智村で浪合合戦となり敗戦、親王は自害しました。師重は逃げ伸びた先の、東国は上野国吾妻郡青山郷に住み着き、ここの地名である「青山」を名乗ったようです。これが青山の始まりとされ、実はここの群馬県中条町は小淵総理、小淵優子代議士のご出身の町で、青山氏を因縁に毎年郡上おどりににも来られています。さて、ここでようやく宗家系図のお1人目の「師重」に至りました。それから八代後の「忠門」という方までは、特に記録が無く、忠門の時代に近江から今の愛知県、三河の百々村へ移り、徳川家康の祖父である松平清康に仕え、百々の小さな城主になったとされています。別の説では、青山氏は近江の出身で三河へ流れ、百々村に土着し、松平に仕えたと言われています。何にしても、このあたりから徳川氏との関係ができ、連戦で苦勞し、忠門は竹千代と一緒に今川の支配下に入ります。その後、桶狭間の戦いでは今川氏が負けたため、家康が独立し、忠門も家康に仕える身となりました。忠門は結局、三方ヶ原の戦いで武田信玄の西上作戦中に戦死。この頃は、皆このような死に方をしました。忠門の子で、九代目の忠成は家康の小姓秀忠の守り役など中枢に関わるようになり、この時代、1590年の家康関東移封に伴って、相模の国に五千石の知行を与えられました。どうする家康では、やはり一国一城の大名クラスが家康の取り巻きで、この頃は青山家は未だ旗本クラスだということでテレビに出ないというわけです。しかし、忠成(よしなり)は家康の鷹狩りに同行し、赤坂から西の湿地を馬で一回りして、原宿、今日の港区青山の広大な土地をいただきました。今の青山は青山氏から来ており、港区との交流や青山での郡上おどりもこの因縁から発しています。なお、梅窓院は、1643年に幸成が亡くなった時に開かれた浄土宗の

寺で、郡上おどりは最初ここで始められました。忠成は、しばらくして真田攻めの後に茨城県で一万五千石加増され大名に列し、江戸町奉行や関東総奉行の重役を務め、開幕後には老中にまで出世しました。次の十代忠俊は三代将軍家光の守り役となりましたが、諫言がきつく、将軍に就任後は忠俊を改易。その子宗俊が小諸で三万石の大名に返り咲き、その後代々、丹波篠山藩六万石で幕末を迎えました。

一方、忠成の四男幸成(よしなり)は、掛川で二万六千石、摂津尼崎で五万石を経て、五代幸道(よしみち)の時に丹後宮津から郡上藩へ転封。石高は四万八千石で、郡上で不足した二万五千石(半分を上回る)は越前から補足しました。以後、郡上藩主が六代続き、幸宣(ゆきよし)の時に維新を迎えます。この幸宣さんの後は幸寿で絶えたため、五男幸高の孫、十四代幸喜が継ぎ、父幸文が後見人となりました。幸喜にも男子が無く、十五代は幸紀さんになることが見込まれています。

最後に、郡上八幡城のもみじ祭をPRさせていただきます。城山は隠れた紅葉の名所でしたが、私が公社を設立した11年に秋の一大イベントにしようと企画したもので、白亜の天守に深紅のヤマモミジ。そのうちにニュースステーションなどのメジャーなテレビに取り上げて頂き、本当に今では秋の風物詩となりました。23日までやっていますので、皆さんも是非行ってみて下さい。なお、アルツハイマー防止運動でオレンジ、糖尿病防止運動でブルーのライトアップもやっています。今年は残暑の影響か、色合いはあまり良くないようです。

終わりに、もみじ祭俳句コンテストで秀逸を頂いた句をご紹介します。

「もののふもこの山もみじ踏みにしか」
ありがとうございました。

かりやすくお話しして頂きました。ロータリアンは皆さん若いです、とお褒めの言葉を頂きました。設営して頂きました渡邊AGを始め、西川実行委員長、そして郡上八幡RCの皆さん方、お疲れ様でした。手作りの看板、そして前垂れ。地元の高校生の筆書き素晴らしいです。おもてなし、ありがとうございました。」というふうに写真付きで投稿されておりました。

次に、11月5日に職業奉仕セミナーに参加してきました。今国際ロータリーの方では、職業分類を無くそうという話が出ているそうです。要は、職業分類をすると人が増えないからです。アメリカのある自動車会社は、会社の中でロータリークラブを作ってロータリー活動をするということで、職業分類のしようがないんですが、それが許可されてロータリー活動をされているという話がありました。そうすると、一クラブに一業種という職業分類の必要がなくなるのではないかという話もされました。私が一番心に残った話が、タクシーの運転手がお客さんを乗せて目的地まで行く、これは普通の職業奉仕である。その帰りに具合が悪くなった人を見つけて、その人を乗せて病院まで送って、無料でそれをしたということは社会奉仕であると。職業奉仕と社会奉仕はそんなことでできるんだよってという話を聞いて、こういうのも一つの奉仕なんだなということを思いながら帰り道の長い渋滞の中を帰ってきました。職業奉仕とか社会奉仕って、そんなに難しく考えないでいいのかなって思いました。以上です。ありがとうございました。

会 員 卓 話 西村 肇会員



皆さん、こんにちは。本日の卓話は代打ですので宜しくお願いします。

先日行われましたIMのことで、篠原ガバナーのフェイスブックに上がっております。それを紹介させていただきます。

「10月29日(日)郡上市総合文化センターにて、東海北陸道グループの6ロータリークラブのIMが盛大に開催されました。オープニングでは寒水の掛踊りの映像を、途中のセレモニーでは郡上踊りをいくつか披露して頂きました。共にユネスコ無形文化遺産です。特別講演には、慈恵中央病院の稲垣麻衣子先生のお話「人生100年時代 私たちはどう向きあうか」をテーマにお話をして頂きました。常にポジティブに考え、幸せな思いを持った人は長く生きます。そして、常日頃より雑談が大切ですと、家族のあり方、社会の関わり方を分